

日本文化大學

2022 年度 IR BOOK

2022 年 5 月 1 日時点の収集データに基づく。

目次

I	学生数	1
II	入学者数・入試状況	3
III	卒業者数・進路状況	5
IV	留年者数	8
V	退学者数	9
VI	成績状況 (GPA 値の分布)	10
VII	教員数・ST 比	12

I 学生数

(1) 大学全体の学生数および定員充足率

2022年度における大学全体の学生数は1,019人、定員充足率は127.4%であった(図1.1)。本学における収容定員数は各学年200人、全体800人である。2019年度からの変化に着目すると、定員および定員充足率は2021年度まで著しい増加傾向を示し、定員割れを満たすことなく学生数が推移していた。一方、定員管理の厳格化が求められていることから、今後は収容定員に即して学生数を確保することが課題の1つである。

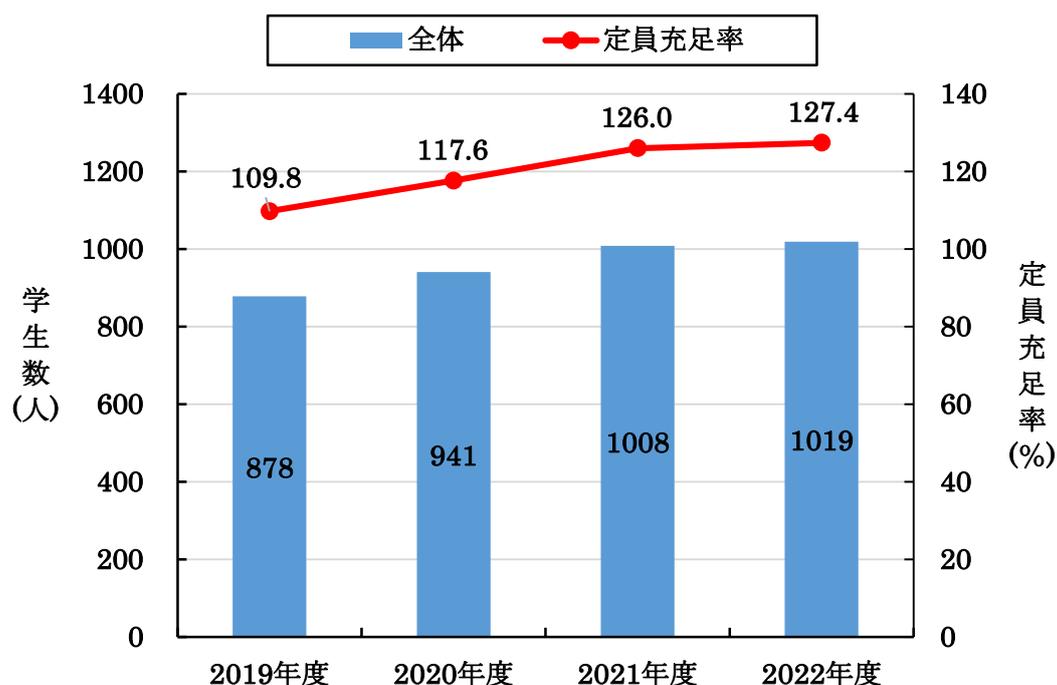


図 1.1 2019年度から2022年度までの大学全体の学生数と定員充足率

※定員充足率=100×(大学全体の学生数÷大学全体の収容定員数)

(2) 男子学生数、女子学生数、女子率

2022年度における男子学生数は801人、女子学生数は218人、大学全体の学生数に対する女子学生数の割合（女子率）は、21.4%であった（図1.2）。2019年度以降の女子率の変化を見ると、ほぼ横ばいといえる。女子率のさらなる向上が今後の課題である。

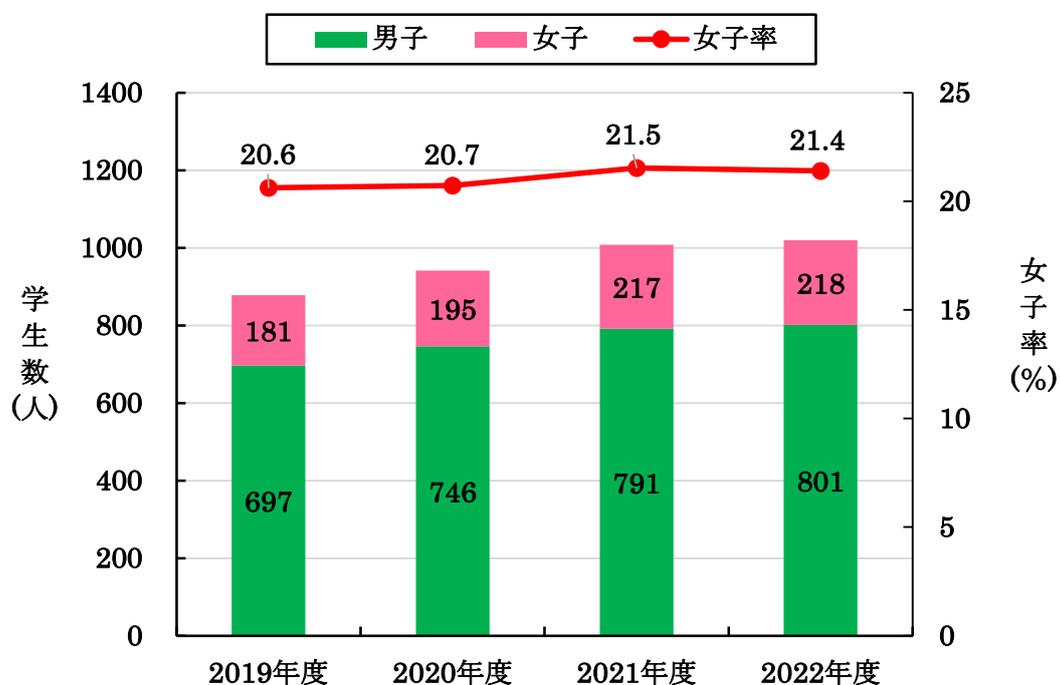


図 1.2 2019年度から2022年度までの男子学生数、女子学生数、女子率
※女子率=100×(女子学生数÷大学全体学生数)

Ⅱ 入学者数・入試状況

(1) 入学者数

2022年度における大学全体の入学者数は279人、入学定員充足率は139.5%であった(図2.1)。本学における入学定員数は200人である。2019年度以降の変化を見ると、2020年度の入学者数は2019年度のものから21人減少したものの、その後の2年間で微増した。入学定員充足率も入学者数と同様の変化を示した。いずれの年度においても100%以上を示し、定員割れをすることなく値は推移した。一方、人口減少時代において今後入学者数が減少することが予想されるものの、定員管理の厳格化が求められていることも勘案すると、入学定員に即して学生数を確保することが今後の課題の1つである。

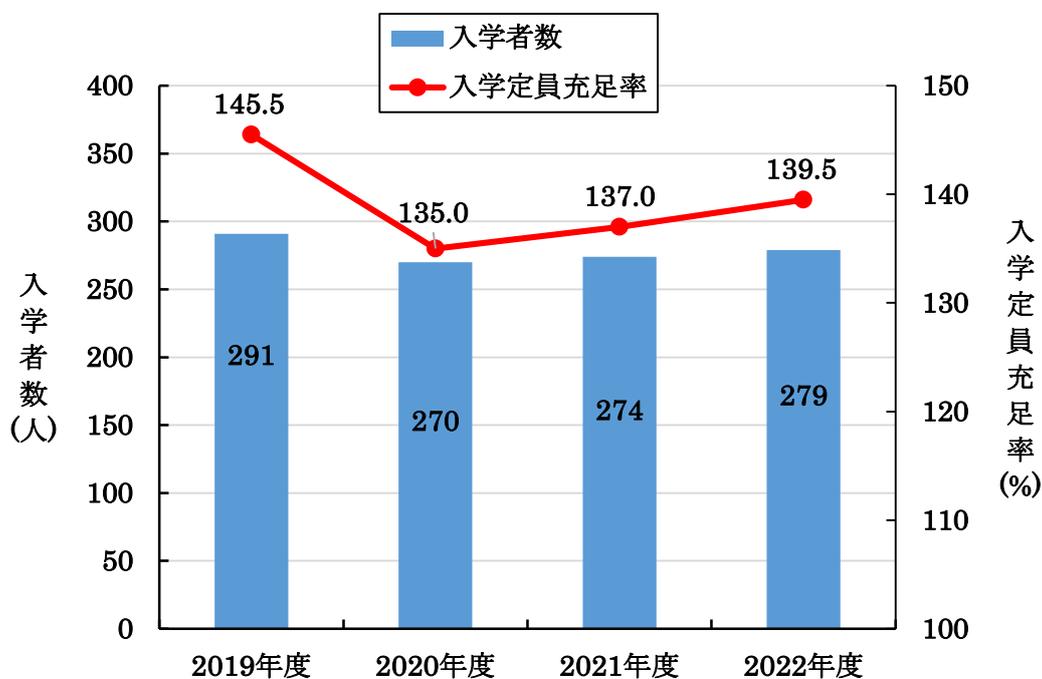


図 2.1 2019年度から2022年度までの入学者数と入学定員充足率

※入学定員充足率=100×(入学者数÷入学定員数)

(2) 入試状況

2022年度の志願者数は374人、合格者数は316人、入学者数は279人であった(図2.2)。2019年度から2022年度までにかけて志願倍率および志願者数は、著しく減少した。

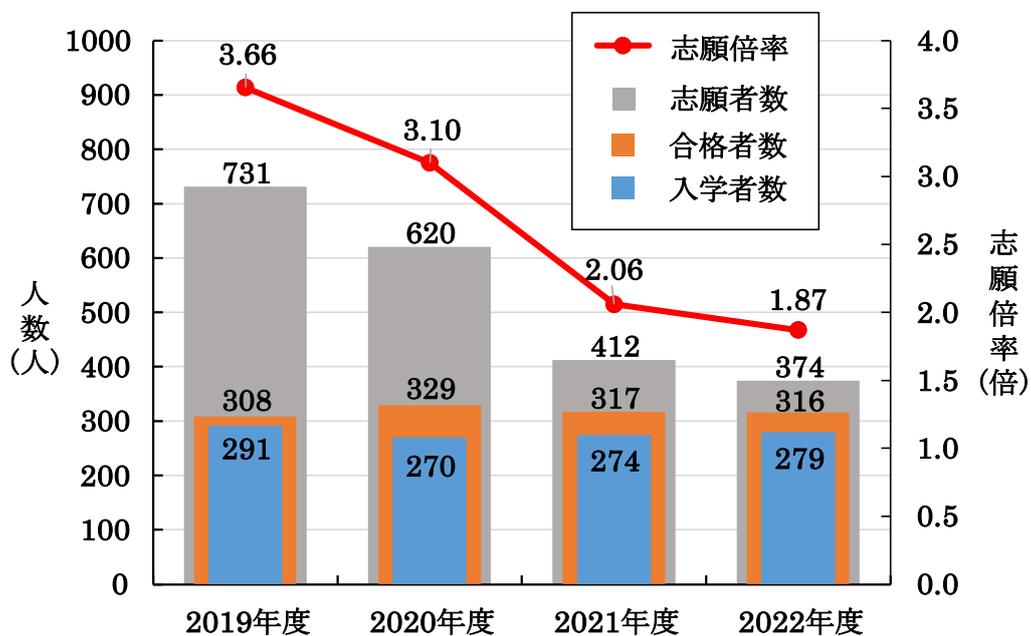


図2.2 2019年度から2022年度までの志願者数、合格者数、入学者数、志願倍率
※志願倍率=志願者数÷入学定員数

Ⅲ 卒業者数・進路状況

(1) 卒業者数

2021年度における大学全体の卒業者数は、204人であった（図3.1）。卒業者数は2019年度から2021年度までにかけて増加し、2021年度で200人を超えた。

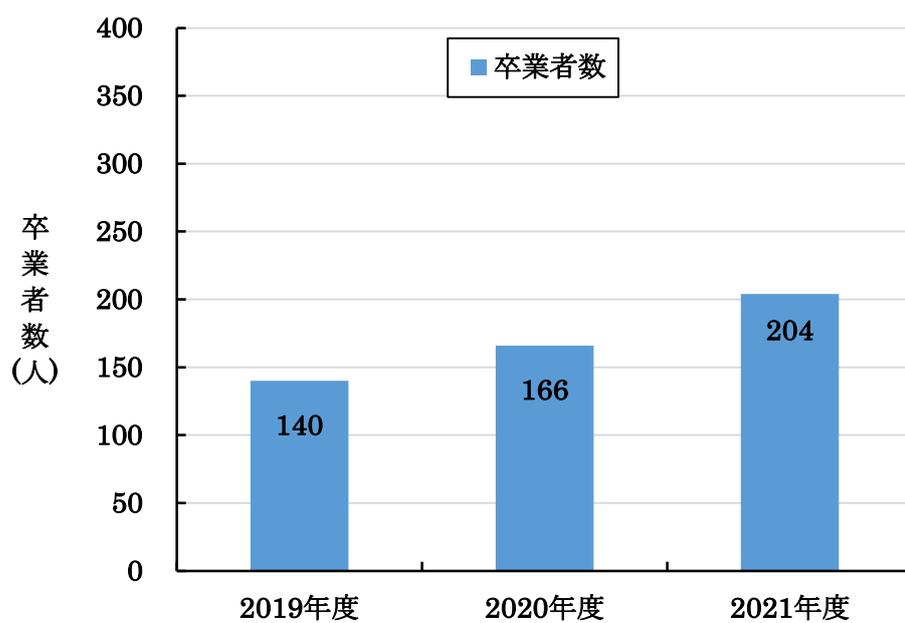


図 3.1 2019年度から2021年度までの卒業者数

(2) 進路状況

2021年度における大学全体の卒業生数、就職希望者数、就職者数、および就職率は、それぞれ204人、202人、198人、98.1%であった(図3.2)。2019年度から2021年度までの就職率は、いずれも96%以上となる高い水準であった。図3.3には2019年度から2021年度までの産業別就職者の割合を示した。いずれの年度においても公務員への就職者が就職者全体の40%以上を占めた。

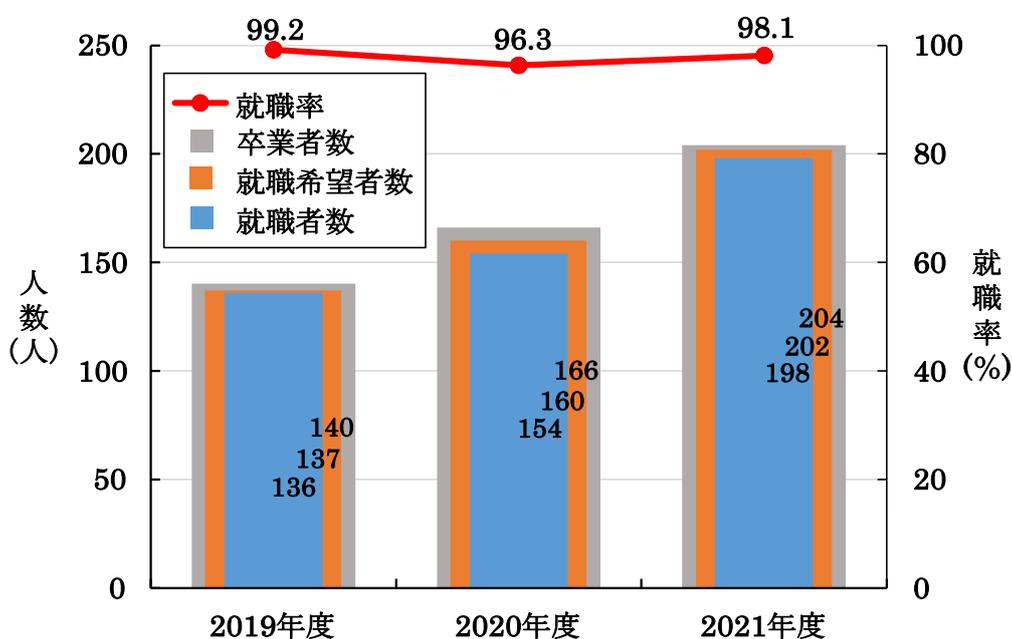


図 3.2 2019年度から2021年度までの卒業生数、就職希望者数、就職者数、就職率
※就職率=100×(就職者数÷就職希望者数)

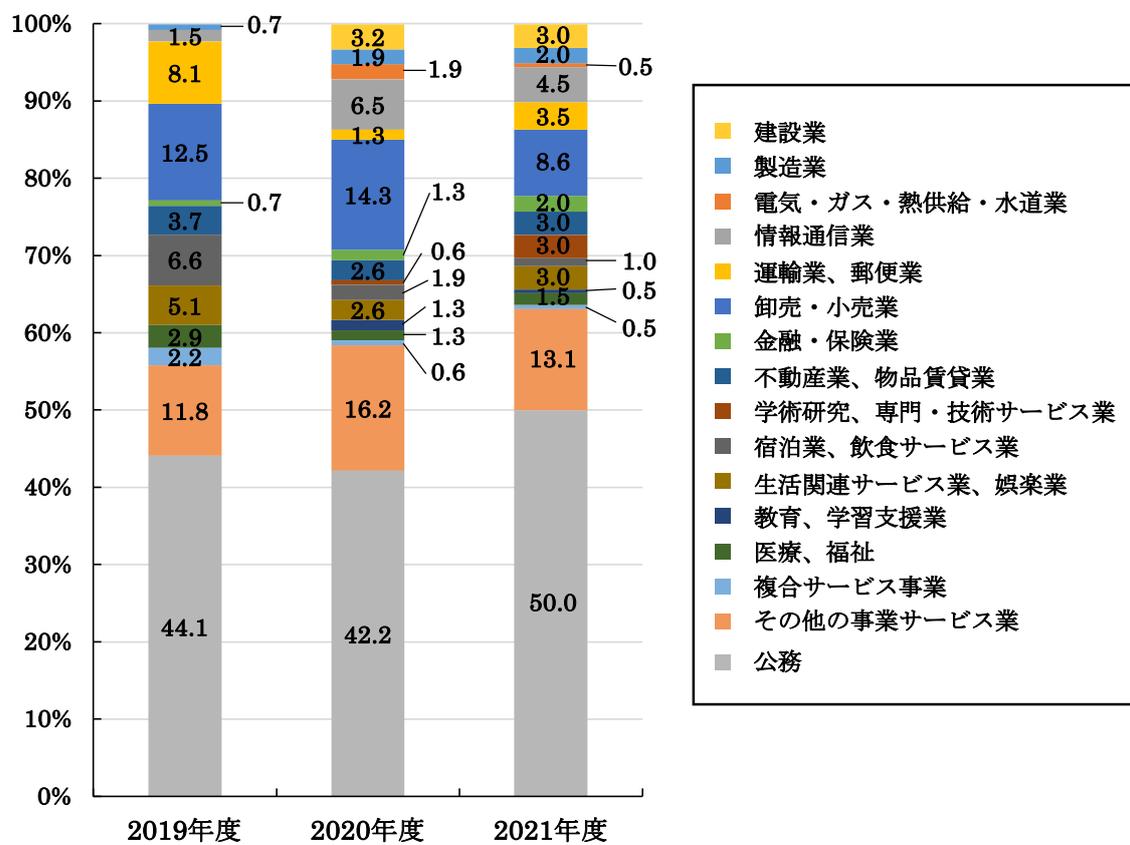


図 3.3 2019 年度から 2021 年度までの産業別就職者の割合

IV 留年者数

2021年度における大学全体の留年者数、留年者の割合は、それぞれ9人、0.9%であった(図4.1)。留年者は、2年次生もしくは3年次生であった。2019年度および2020年度における2年次生と3年次生の合計留年者数は、それぞれ11人、15人であった。すなわち、留年者の多くが2年次生および3年次生であることが示された。

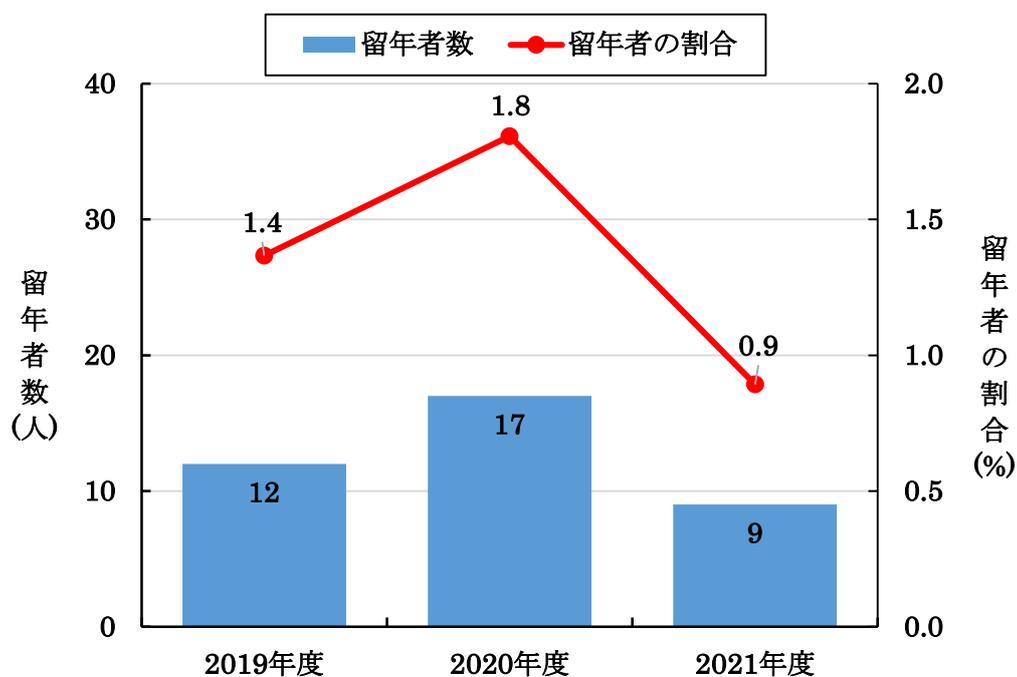


図 4.1 2019年度から2021年度までの留年者数、留年者の割合

※留年者の割合 = $100 \times (\text{留年者数} \div \text{大学全体の学生数})$

V 退学者数

2021年度における大学全体の退学者数（除籍者数を含む）、退学者の割合は、それぞれ62人、6.2%であった（図5.1）。ともに2020年度よりも増加した。退学者の抑制対策として、個人面談や保護者を含む三者面談などを行い、学生状況を把握することが必要である。

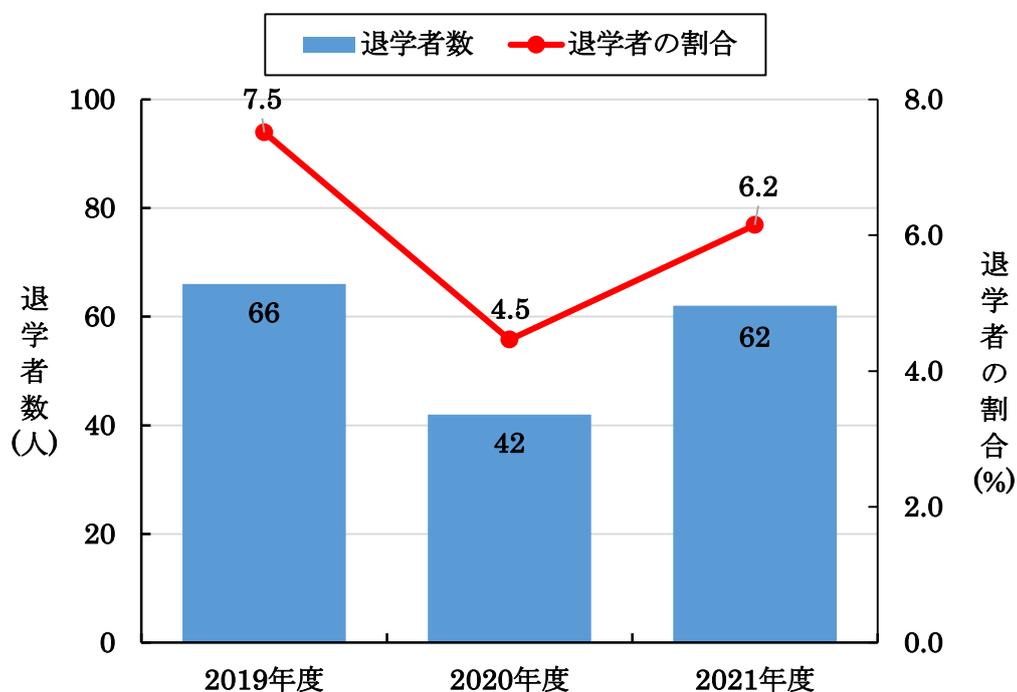


図 5.1 2019年度から2021年度までの退学者数、退学者の割合
※退学者の割合 = $100 \times (\text{退学者数} \div \text{大学全体の学生数})$

VI 成績状況 (GPA 値の分布)

2020 年度および 2021 年度における大学全体の学生全体の GPA 値の平均値±標準偏差は、共に 1.98 ± 0.62 であった。図 6.1 には 両年度における各学年の GPA 値分布を示した。すべてに共通して、右側に裾が伸びた分布を示した。そこで、両年度における各学年の GPA 値の中央値を算出したところ、2020 年度では 1 年次から順に 1.88、1.89、1.85、2.00、2021 年度では 1 年次から順に 1.85、1.88、1.94、1.90 であった。

2020 年度および 2021 年度における卒業生の通算 GPA 値（入学年度から卒業年度までの GPA 値）の平均値は、それぞれ 1.89 ± 0.58 、 1.91 ± 0.59 であった。図 6.2 には、2020 年度および 2021 年度における卒業生の通算 GPA 値（入学年度から卒業年度までの GPA 値）の分布を示した。両年度に共通して、右側に裾が伸びた分布を示した。そこで、卒業生の通算 GPA 値の中央値を算出したところ、2020 年度では 1.78、2021 年度では 1.74 であった。入学年度から卒業年度までの GPA 値については、中央値が 2.00 以上となるように授業等の改善に取り組むことが今後の課題の 1 つである。

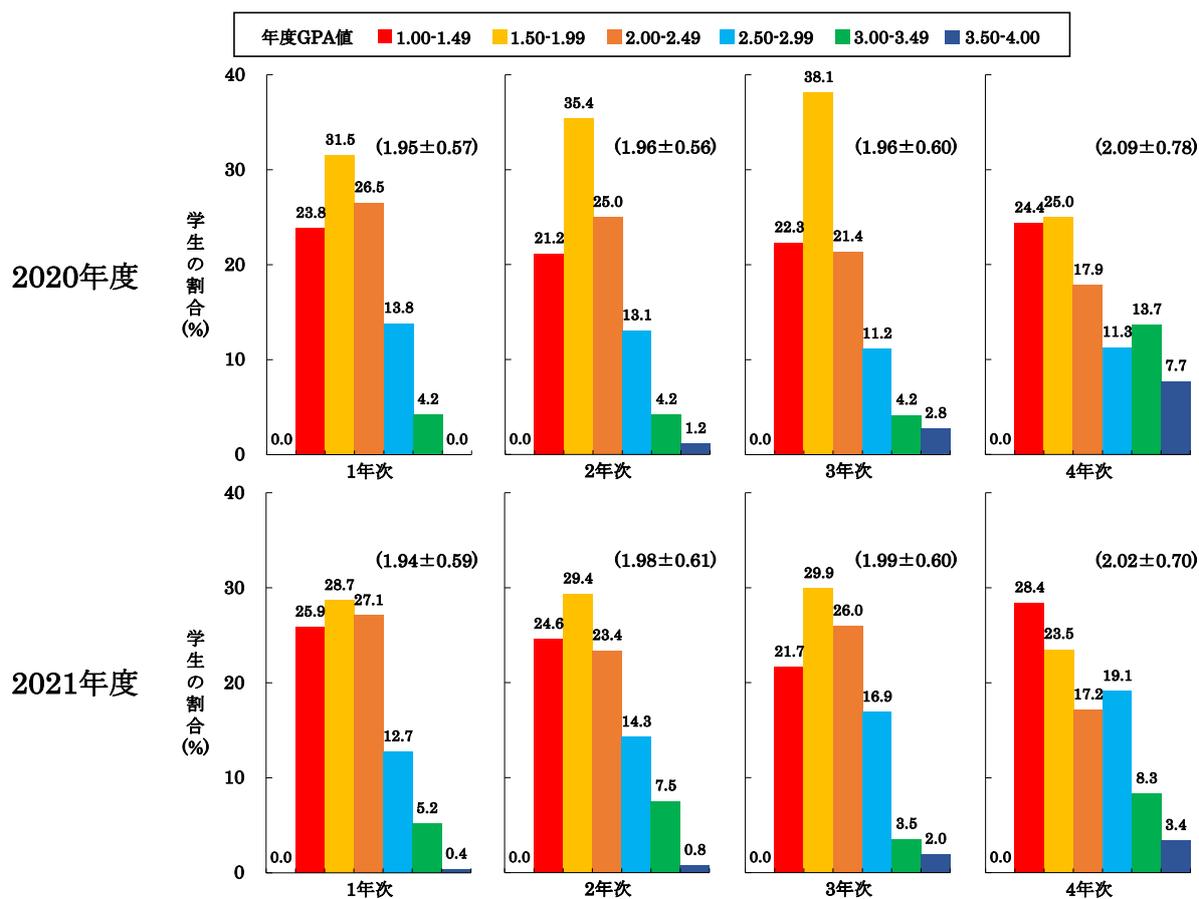


図 6.1 2020 年度および 2021 年度における各学年次の GPA 値の分布

※()内数値は各学年次における GPA 値の平均値±標準偏差

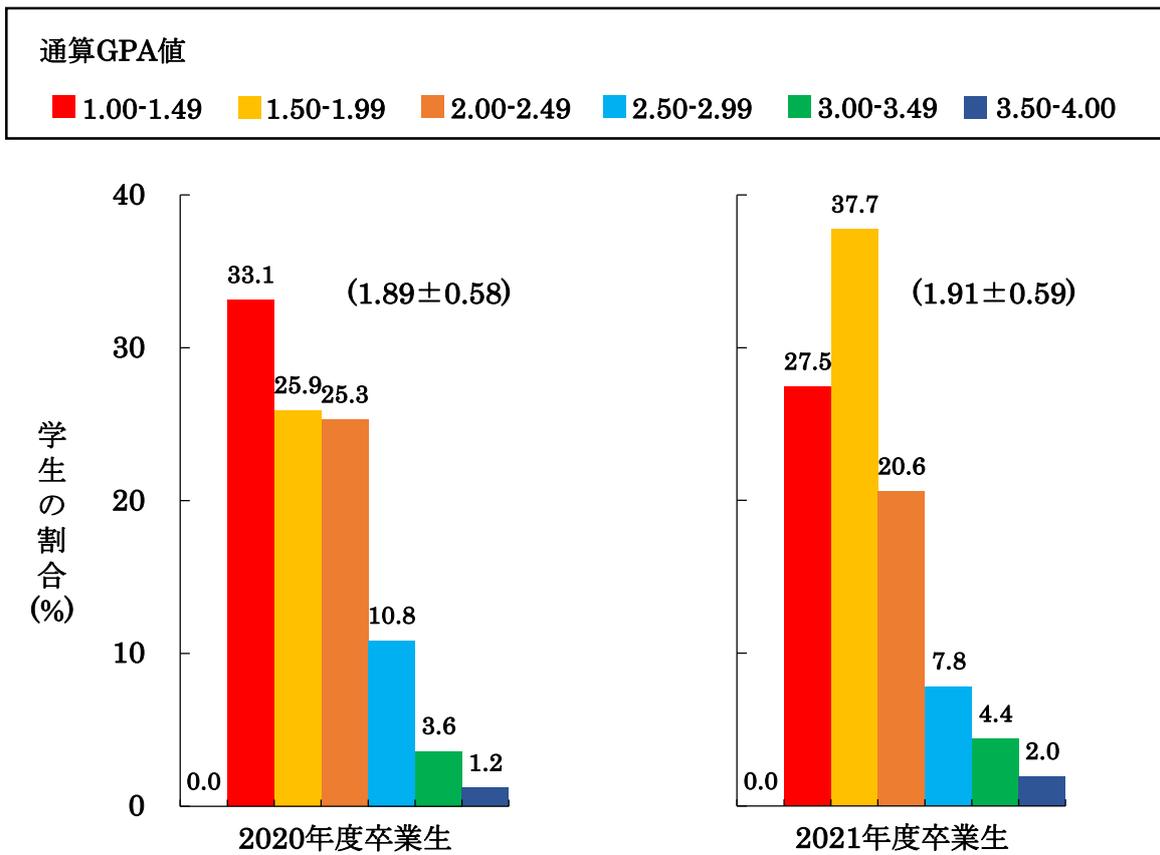


図 6.2 2020 年度および 2021 年度における卒業生の通算 GPA 値の分布
 ※()内数値は各年度卒業生における通算 GPA 値の平均値±標準偏差

VII 教員数・ST比

2022年度における大学全体の専任教員数は27人であり、専任教員1人あたりの学生数（ST比）は、37.7人であった（図7.1）。2022年度における大学全体の非専任教員数は24人であった（図7.2）。2019年度から2022年度までの変化をみると、専任教員数はほぼ横ばいであったものの、非専任教員数およびST比は微増したことが示された。

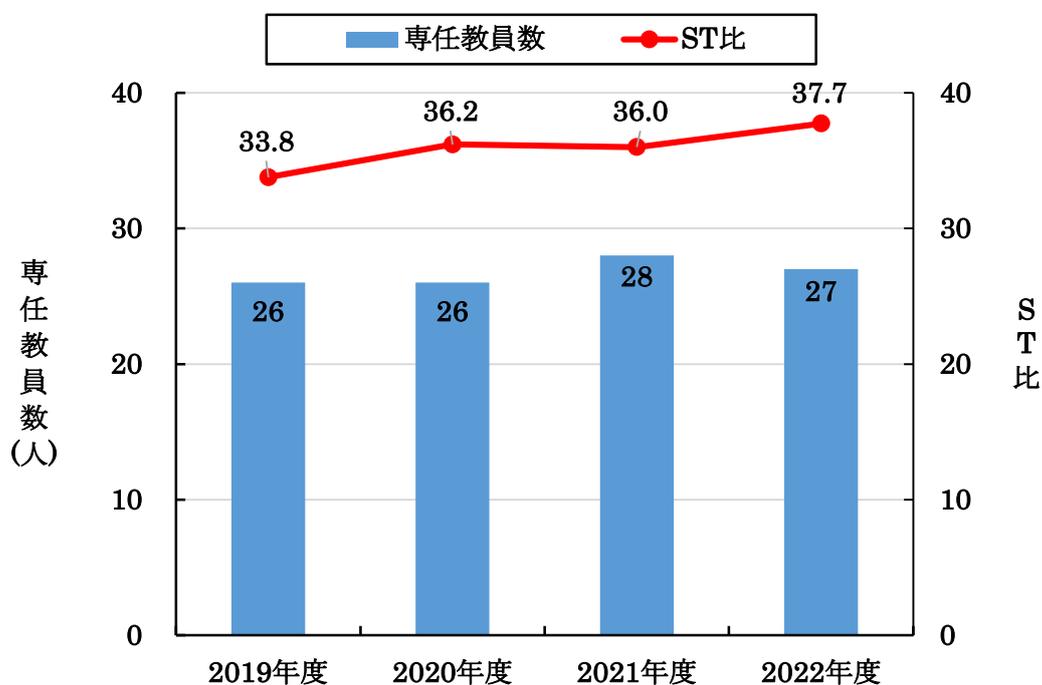


図 7.1 2019年度から2022年度までの専任教員数、ST比

※ST比＝大学全体の学生数÷専任教員数

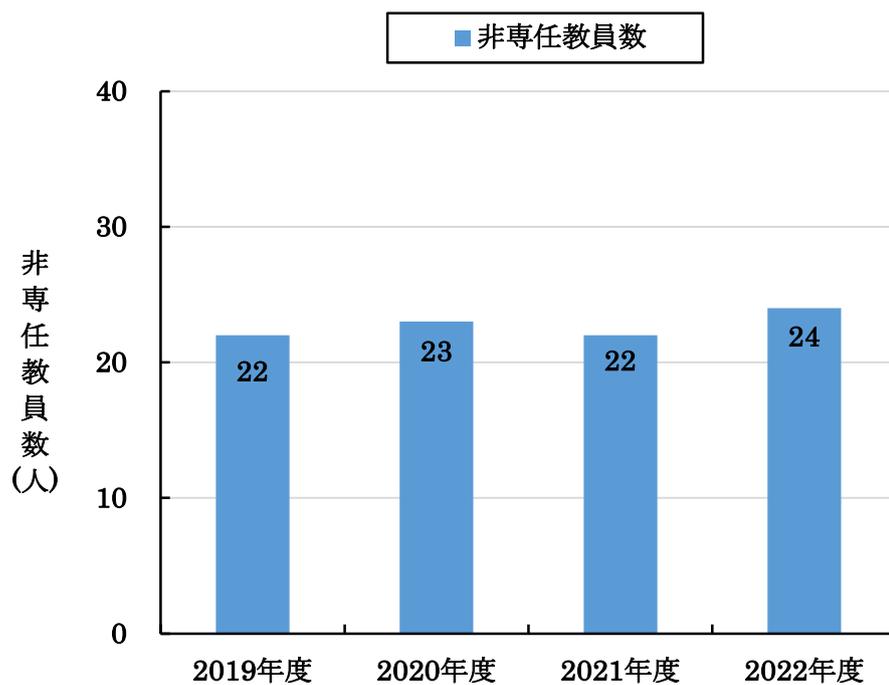


図 7.2 2019 年度から 2022 年度までの非専任教員数

日本文化大學 IR 推進室

〒192-0986 東京都八王子市片倉町 977 番地

電話：042-636-5211